

計画事業番号	00607	事務事業名	公営住宅長寿命化事業	担当部署	建設部建築課	電話	4207
--------	-------	-------	------------	------	--------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	公営住宅法、同法施行令、同法施行規則			
事務事業開始年度	平成26年度		個別計画等	北広島市公営住宅長寿命化計画			
〃 終了予定年度	平成33年度						
ソフト・ハード区分	ハード事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 2 節) 居住環境の充実	
	(施策 1) 公営住宅等の整備促進	
2 対象	公営住宅	
3 目的と内容	市営住宅は構造により耐用年限が45年又は70年とされ、この間市営住宅としての役割を果たすには、その性能を保持するための計画的な修繕や改善が必須である。 平成23年度に策定した『北広島市公営住宅長寿命化計画』に基づき、必要な修繕・改善等を実施する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	H23年度に公営住宅長寿命化事業の基本となる「北広島市公営住宅長寿命化計画」を策定。 H26年度に広島団地3号棟の外部改修、1号棟の改修設計委託実施。 H27年度に広島団地1号棟の外部改修、2号棟の改修設計委託実施。 H28年度に広島団地2号棟の外部改修、4号棟の改修設計委託実施。
	29年度	広島団地4号棟の外部改修工事実施。受水槽・プロパン庫及び集会所の外部改修工事実施。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
調査設計・修繕・改善の実施	調査設計・修繕・改善の実施	修繕・改善の実施					
市営住宅広島団地2号棟の屋上防水・外壁改修 4号棟改修設計委託	市営住宅広島団地2号棟の屋上防水・外壁改修 4号棟改修設計委託	市営住宅広島団地4号棟の屋上防水・外壁改修					

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	市営住宅広島団地は建築から20余年が経過していることから、屋上防水や外壁の改修は、住宅ストックの延命を図るためには、非常に有効な手段である。今後については、公営住宅長寿命化計画において、計画の最終年度の平成33年度に輪厚団地の改修を計画している。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			51,341		64,823		0		0	
事業額	直接事業費	国支出金	22,938		29,170		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	28,300		35,600		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	103		53		0		0	
	① 合計	51,341		64,823		0		0		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			53,021		66,503		840		840	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①住棟改善	目標値 実績値	1 1	1 -	-	-
	②実施設計	目標値 実績値	1 1	-	-	-
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市が事業主体である市営住宅の老朽化対策及び、入居者の居住環境改善のために実施するものであることから、事業の実施は不可欠であり妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	改修をすることで施設の長寿命化が図られている。また、住環境の充実という面で効果が上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	居室内の改修や設備等の更新を行うことによって、より居住環境の向上が見込まれるが、コストの問題や、入居者を一時的に移転させる必要が出てくる場合もあるなど、熟慮が必要である。よって、現状では外部の改修のみを実施している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市営住宅の長寿命化を図るための最低限の工事を実施していることから、工事の縮小は困難である。また、費用の面でも国庫補助金の対象事業として実施しており、コストの削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---